

# 研究所 月報 2022.7

## テレワーク継続の目的の変化

# 人材確保のためのテレワーク

新型コロナの感染が少しずつ沈静化するに伴い、テレワークの実施率が低下してきています。しかし、同時にその実施目的には変化の兆しも。

本日はそのような状況を、東京商工会議所の「中小企業のテレワーク実施状況に関する調査」結果（2022/6/13）から見ていくこととします。

なお、この調査は、2022年5月16日～26日に、東京23区の中小企業2,284社を対象に実施されたもので、回答数は654社となっています。

このようにテレワーク実施率は低下していますが、今回注目したいのは、テレワーク継続の目的が変化してきていることです。以下はその前回調査（2022年2月）との比較です。

38.4%→56.7%	<b>働き方改革の推進(+18.3ポイント)</b>
67.3%→53.1%	事業継続性の確保 (▲14.2ポイント)
66.4%→49.0%	出勤人数を抑制・三密回避 (▲17.4ポイント)
36.5%→39.7%	通勤負担の意軽減
20.9%→23.2%	業務プロセスの見直し
<b>9.0%→18.6%</b>	<b>人材の採用確保のため・遠隔地・優秀な人材(+9.6%)</b>
11.4%→11.9%	コスト削減のため・(オフィス・通勤費など)

このように事業継続性の確保や三密回避という目的が大幅に低下する一方、働き方改革の推進や人員の採用・確保が大幅な伸びを見せています。いよいよ、新しい働き方の選択肢として、テレワークが定着期に入ってきたといえるのでしょう。

もっとも、企業間の対応にはかなりのバラつきがありますので、当面はテレワークを活用した働き方改革が進む企業と遅れる企業の二極化が進むことになりそうです。

後者の企業は人材の確保・定着において課題が出ていないか、常にチェックが求められることになりそうです。



# 社会保険の短時間労働者への適用拡大 男女・年代別で異なる反応

今年10月にパートタイマーへの社会保険の適用拡大が行われます。対象となる企業ではその準備を進めていらっしゃるのではないかと思います。当のパートタイマーはこの適用拡大をどのようにとらえているのでしょうか。

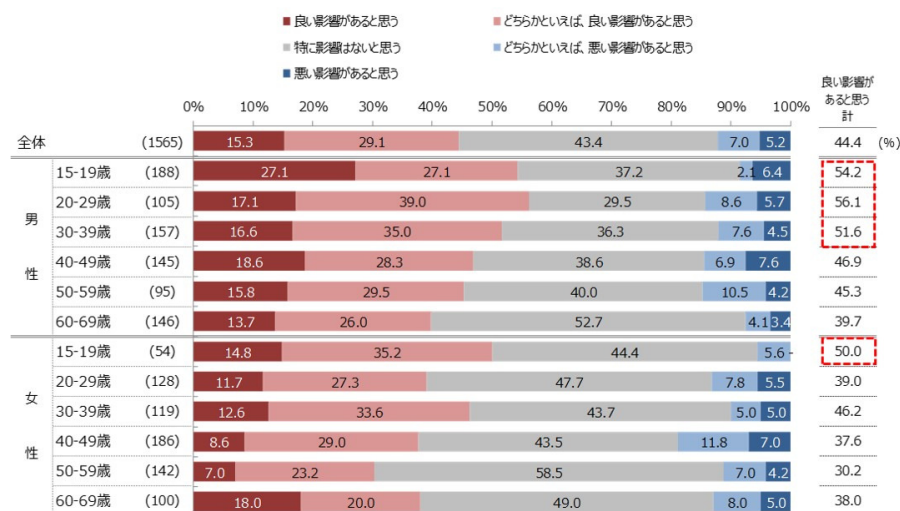
マイナビの「非正規雇用に関する求職者・新規就業者の活動状況調査(22年3-4月)」からその状況を見てみましょう。(全国15~69歳の男女/有効回答数はスクリーニング調査15,487名、本調査1,565名)

これによれば、今回の社会保険の適用拡大が自身に「良い影響があると思う(「良い影響があると思う」+「どちらかといえば、良い影響があると思う」)」と回答した人は、全体で44.4%となっています。

これを年代別で見ると、基本的には若い世代の方が「良い影響があると思う」と回答する傾向があり、20代男性では、56.1%となっています。

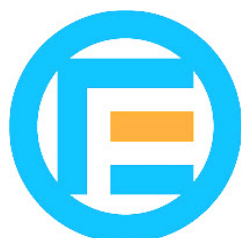
一方、男女別で見ると、女性はその率が低く、10代では50.0%ですが、20代では39.0%、50代では30.2%となるなど、社会保険の加入を前向きに捉えていない傾向が見られます。

今回の結果からは、特に女性のパートタイマーを多く雇用している企業では、社会保険に加入する必要がない範囲での就業制限を希望するケースが増加し、場合によっては更なる人手不足が加速する可能性があります。それだけに早めの対応が求められます。



## ひらたコラム

梅雨時期らしい空模様の不安定さの合間に、山登り。標高889mの白木山。  
山登りのポータルサイトで「体力度は5段階で2」と書いてあったので、楽勝じゃん！と安易に選んだのに、ほぼ直登ルートで、ヒイヒイ言いながら登りました。体力度って何？5はエベレストか何か？  
翌日から2日後にかけて、しばらく経験していない筋肉痛が襲い、結局3日間ヒイヒイ言いました。とはいえ、自転車よりも直接筋肉に効く運動ではあるので、これからは低山登山もアクティビティに入れたいと思います。  
次は広島に住んでいながら人生初となる、宮島・弥山に挑戦。



発行/2022年6月30日 第122号  
平研究所 代表・社会保険労務士 平田 さやか  
733-0865 広島県広島市西区草津本町 9-18-201  
TEL 082-530-2344 / FAX 082-553-0544  
Mail info@tairaken95.com  
URL http://tairaken95.com

